

睡眠時無呼吸検査

検査は簡単。簡易モニターを装着するだけの睡眠時無呼吸検査です。自宅でも出来ます。

睡眠時無呼吸検査とは

自宅でも、アプノモニター（簡易睡眠時無呼吸探知装置）を装着して、眠っている間の鼻呼吸とイビキ、酸素飽和度のデータを同時に測る簡単な検査です。夜中にトイレに起きても、モニターを外さずに自由に行けます。鼻と腕に装着したセンサーで、睡眠中における鼻の呼気、血液中の酸素濃度を記録・解析することによって、無呼吸や低酸素が睡眠中に起こっていないかがわかります。



睡眠時無呼吸症候群（SAS）とはどんな病気？

睡眠中に10秒以上、口・鼻の空気の流れ（呼吸）が止まってしまった状態を「睡眠時無呼吸」といいます。呼吸が止まらなくても呼吸が弱くなり、体の中に酸素が足りない状態となるものを「睡眠時低呼吸」といいます。この呼吸と低呼吸を合わせて睡眠中1時間当たり5回以上認め、しかも下記に述べる日中の眠気など特徴的な症状がある場合にSASと診断します。症状がなくても無呼吸・低呼吸が睡眠中の1時間当たり15回以上存在する場合にもSASと診断します。

睡眠時無呼吸症候群（SAS）の症状

- ・ 居眠り運転を起こしそうになる
- ・ 大きなイビキをかく
- ・ 日中いつも眠気が起きる
- ・ 起床時に頭痛がする
- ・ 熟睡した感じがしない



あなたの眠気度をチェックしてみましょう！！

- Q1 座って雑誌や新聞などを読んでいる時
- Q2 座ってテレビを見ている時
- Q3 会議、映画館、劇場など静かに座っている時
- Q4 乗客として1時間続けて車に乗っている時
- Q5 午後に横になって、休息をとっている時
- Q6 座って人と話をしている時
- Q7 昼食を取った後（飲酒なし）静かに座っている時
- Q8 座って手紙や書類を書いている時

どのくらいウトウトする（数秒から数分眠ってしまう）のかを、各質問に対して左記の4つの回答の中から選択してください。そして回答毎に設定されている点数を集計してください。

「ほとんどない(0点)」 「少しある(1点)」
「半々くらい(2点)」 「多い(3点)」

合計点が**11点以上**の場合は、睡眠時無呼吸症候群の疑いが高いです。検査を受けることをお勧めします。

料金 8,000円 税込8,800円

〒064-0820
札幌市中央区大通西26丁目3番16号

【お問い合わせ】

(TEL) 011-611-7766